

第4回 安城市文化振興計画策定審議会（議事録）

日 時 令和8年2月20日（金）

午後2時から2時30分まで

場 所 歴史博物館 講座室

- 1 市民憲章唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) パブリックコメントの実施結果について
 - (2) 安城市文化振興計画改訂版（案）について
- 4 答申

出席者

【委員】 森委員、品川委員、川崎委員、丸山委員、野口委員、花井委員、小山委員、高山委員、鈴木委員、藍原委員

【事務局】 石川教育長、加藤生涯学習部長、朝岡文化振興課長、平井文化振興課長補佐兼芸術文化係長、野上学芸係長、西島文化財係長、学芸係（後藤）、芸術文化係（谷村）、文化財係（鈴木）

議事録

【会長あいさつ】

4月から審議を重ねてまいりましたが、文化振興計画改訂版のとりまとめも終盤ということで、この場を借りて御礼を申し上げます。

協議事項

(1) パブリックコメントの実施結果について

【委員】

パブリックコメントを実施して0件とのことで、事務局はこの結果についてどのように捉えているか。

【事務局】

同じタイミングで、環境や生涯学習、図書館といった、複数分野の計画についてパブリックコメントによる意見募集があり、また今回文化振興計画は中間見直しということもあり、興味を持って見るという関心が低くなったかと考えています。大幅な見直しなどがあればもう少し意見がたくさん出たかもしれません。

【委員】

他の計画については、意見はあったのだろうか？

【事務局】

他の計画についても、中間見直しについては全体的に少ないです。新規の計画策定は多く来ているのもございますが、小中学生向けのパブリックコメントとして集まった意見以外の大人からの意見はないというところもございました。

(2) 安城市文化振興計画改訂版（案）について

意見なし

【会長】

さて、改訂に伴う本審議会の協議は終了となります。答申に移る前に、改訂作業に加わった皆様のご感想やご意見を述べられたい方、この場を借りて皆様にお伝えしたいことがある方はいらっしゃいますか。

【委員】

私自身勉強中の身で、審議会の場に関わること自体初めてで積極的に意見を述べるなどが中々できなかった部分もありますが、この安城市の文化芸術の現状をお聞きすることができ、勉強になりました。この計画が実施された後も、一市民として、文化芸術の場に関わっていきたいと思っています。

【委員】

今年の4月に安城文化協会創立80周年を迎えるということで、「聞かせよう、見せましょう」という事業だけでなく、参加型の行事というものを特に考えて、今まで以上に市民の皆様と一緒に芸術文化を楽しんでいただけるような活動を目指していますので、よろしければ見てください。

【副会長】

ここまで作業に携わっていただいた皆様、お疲れ様でした。今、委員の方からありましたように、地元の方、特に若い人たちが、こういった計画や議論があること、課題などを共有して街として文化が育っていくといいなと思います。常々計画について言われているのが「絵に描いた餅」にならないようにということ。パブコメが0件だったことは、市民の方の関心のバロメーターのひとつになるので残念ですが、これから事務局の方で広く市民や内部に働きかけをして、予算を確保するなど、この先考えられていることはありますか？

【事務局】

市全体の事業の中で予算を確保するのは難しい面もございますが、この計画に対して事業を進めていく中で、参加してくれた方などの満足度を聞き取るということも、今までやっていない事業もあり

ましたので、満足度を確認して計画の進捗状況を確認してまいりたいと考えております。

【会長】

最後に一言述べさせていただきます。安城市文化振興計画が策定されましたのが令和3年度で、新型コロナウイルス感染症の渦中にあり、コロナ禍を経て文化芸術の重要性が皆さんにも再認識されたと思います。このコロナ禍は自分としても大変印象的な時期ですが、文化芸術が必要なのかという意見や、閉鎖空間の中で音楽や映画など文化芸術がなく過ごせるものなのかといった話もあったと思います。現代社会において、文化芸術に対する期待感は一層高まっていると思いますし、私自身この碧海の中で、市民の方たちと文化芸術をベースにした事業の企画者として20年以上やっているのですが、市民の皆様の意見を聞きながら、地域は文化芸術で盛り上げることができると確信しているところです。

委員の皆様と約1年間慎重なご審議を兼ねてきていただいたおかげで、無事に本審議会の責務を果たせたことを非常に嬉しく思います。先ほど副会長もおっしゃったとおり、計画が計画で終わらないように、この計画を周知して実行できるように、事務局の皆様にはまたご尽力いただければと思っております。

それでは、答申となりますので進行を事務局へお返しします。

答申

(会長から教育長へ答申書を交付)

【教育長】

ただいま答申をいただきました。ここに至るまでの、委員の皆様のお取り組み、お骨折りに深く感謝を申し上げます。

この答申書にもありますように、安城市の文化芸術を振興するにあたり、委員の方からご意見もありましたとおり、何よりも子どもたち、若者たちの文化芸術に対する関心・意欲、こういうものを引き出し、あるいは応え、豊かな心を育めるような環境を整えてまいりたいと思っております。

これからも安城市の文化振興のため共に、お力添えをいただきながら進めてまいりたいと思っております。この度は大変ありがとうございました。

【事務局】

これをもちまして答申を終了いたします。また、以上をもちまして、令和7年度安城市文化振興計画策定審議会を終了させていただきます。皆様にはこれまで慎重なご審議をいただき、ありがとうございました。